

令和元年度

令和元年12月24日

前期 学校評価アンケート結果について

京都市立乾隆小学校
校長 山本 太郎

先日実施いたしましたアンケート集計結果をお知らせいたします。

回収率は、75%でした。ありがとうございます。

(右帯グラフ参照) 問1, 問10については、高い評価をいただきました。アンケート結果を踏まえ、子どもたちにしっかりと学力をつけていく取組を今後も進めていきたいと考えています。

問4については、保護者の方からは昨年と同様の評価をいただいています。教職員の評価で「A よくあてはまる」が昨年度は52.9%であったのが今年度は11.1%と大きく下回りました。家庭と学校で到達目標を共通にできるように、また、家庭での学習習慣がしっかりと身につくように各家庭と、学校がさらに連携を深めるとともに、一人一人の課題にあった学習を提供したり、学習計画を立てたりすることで基礎基本の定着が図れるように取組を進めていきたいと考えます。

問5については、高い評価をいただいています。教職員の評価も「A よくあてはまる」が昨年度は23.5%であったのが33.3%になっています。校内研究において、児童が互いに考えを表現し合って学習への理解を深めるととらえ、児童の言葉での表現を豊かにすることに重点を置き、各学年で系統立てて取り組んでいることの表れではないかと考えます。「一人一人がわかる授業」を心がけ、学習の定着を確実なものにしていきたいです。

学校といたしましてはこれらの結果を踏まえ、今後も授業改善や保護者の方の思い・願いをしっかりと受け止めていかなければならないと考えています。

この評価結果については、学校運営協議会の理事会でも報告させていただきました。理事の皆さんからは、いろいろなご意見を頂きました。

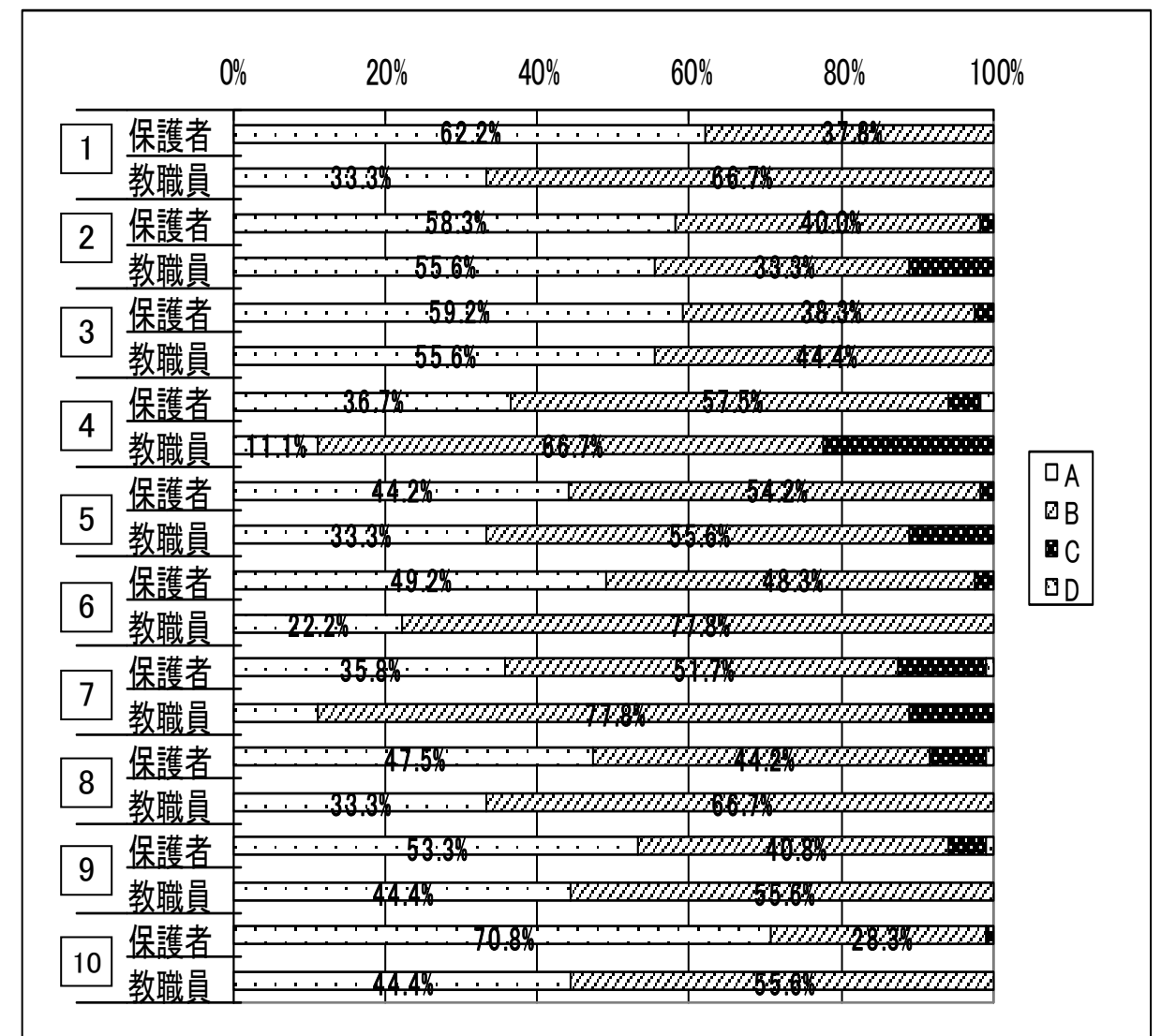
- ・家庭、地域、学校が連携を更にとって子どもの学力向上に向けて取り組んでいくことが重要である。
- ・授業が分からない児童や主体的に活躍でない児童に対しては個々に合った指導や支援をしていく必要がある。
- ・早寝早起き・朝ご飯などは家庭で気をつけるのが基本であるが、学校でも生活リズムが整うような取組をしていくことが必要。

また、保護者の皆様からは、記述式でのご意見・ご要望等も頂きました。

頂いたご意見等を検討し、これからの取組に反映していきたいと考えております。

アンケート項目

- 問1 教育方針や取組内容を学校だよりや懇談会等の機会にわかりやすく伝えている。
問2 教育目標の達成に向けて、情熱を持って教育にあたっている。
問3 子ども一人ひとりが大切にされて、認められる学校づくりを進めている。
問4 宿題や家庭読書など家庭での学習習慣が身についている。
問5 教科の学習内容がわかり、基礎的な学力が身に付く取組を進めている。
問6 集団での規律やマナーなどが身に付くような取組を進めている。
問7 早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についている。
問8 子どもが成就感や満足感を感じながら学校生活を送れるような取組が進められている。
問9 子どもに力をつけていってほしいという保護者の思いや願いに応えようとする姿勢が見られる。
問10 様々な取組や行事等を通して、家庭・地域と協力して子どもの教育にあたっている。



A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない